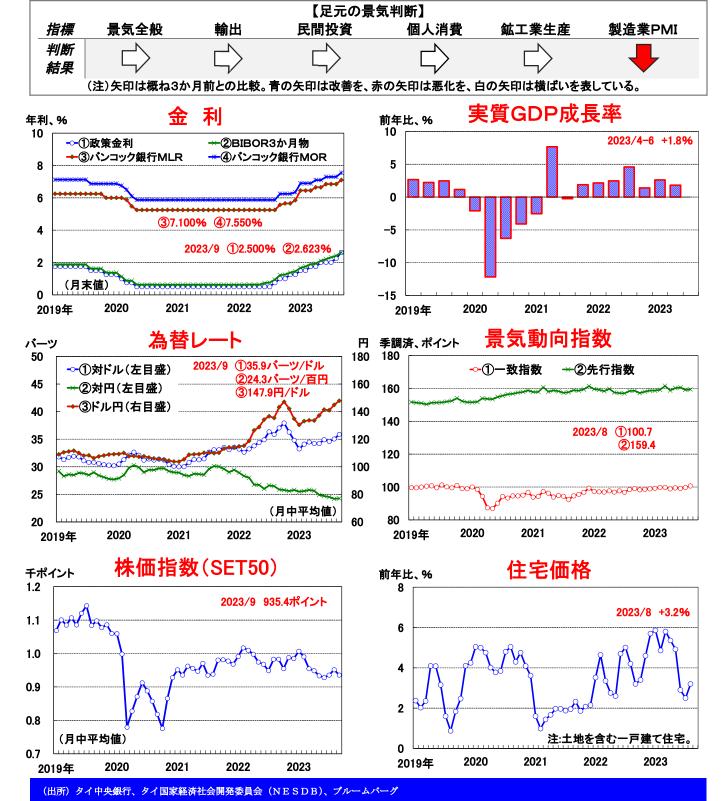
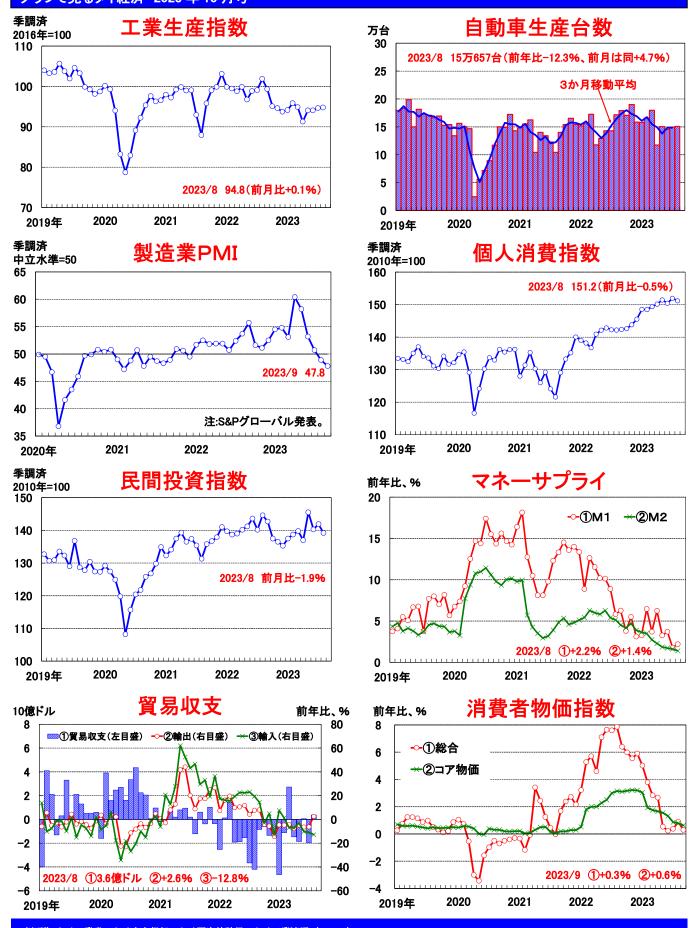
## グラフで見るタイ経済 2023 年 10 月号(No. 172)

タイの景気は回復の動きが鈍化している。8月の個人消費指数は高水準ながらも前月に比べて小幅に低下した。非居住者消費が増加した一方で、延滞の増加を背景とする自動車ローンの審査厳格化などにより新車販売が大幅に減少したため、耐久財消費が弱含んだ。一方、8月の輸出は前年比+2.6%と前年水準を上回った。内訳をみると、中国向けが伸び悩んだものの、米国向けは大幅に増加した。ただ、9月の製造業PMI(中立水準は50)は47.8と、新規受注の弱含みなどから5か月連続で低下した。



本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

## グラフで見るタイ経済 2023 年 10 月号



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。